

南白小の未来をえがく！

令和4年12月20日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第18号

2学期、保護者の方に感謝しています。

81日間の長い2学期が終わろうとしています。9月の暑いスタートから12月の真冬並みの寒さにと、季節の変化を楽しめる自然豊かな南白小です。11月の終わりには紅葉がきれいな南白小でした。自然に魅せられる学校に着任できたこと、改めてうれしく思いました。

運動会、学習発表会と大きな行事も無事に終わりました。制約をかけての公開でした。保護者の方のご理解、ご協力がなければできない行事です。感謝をしています。ありがとうございます。

コロナ禍は、9月、10月の段階では、もう終息するかと思っていました。しかし、11月の中旬から社会全体で感染者が増えると同時に、南白小でも学級閉鎖を検討しなければなりません。3学期も引き続き、感染防止に努めなければならないと考えています。学級閉鎖で「子供たちの学びを止めない」ためにも、感染防止についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



青空に映える銀杏の紅葉

4年…「個性について考える」…理解授業

ひばり教室の教員による学習です。ひばり教室の教員と担任による劇（ひばり劇場）から学習が始まりました。「苦手なこと」について、一人一人の教員の苦手なこととよさを伝えていきます。「みんな違う個性があること」、「短所は見方を変えると長所になること」を学んでいきます。

自分の個性について、選択肢から選んでいきます。「友達がたくさんいる」「のんびりしている」「あわてんぼう」などです。一人一人が違う選択肢を選ぶことで、人には個性があることを学びました。次に「リフレーミング クイズ」です。短所が長所になることを学びます。

8つのクイズから、見方によって、短所がよさになることを学びました。個性について考える、深い学習です。短所を長所として考えた経験は、4年生の子供



ひばり劇団…自分の個性は？



リフレーミング クイズ、こうかなあ！

リフレーミング クイズ

意地をはる→くじけない など
うるさい→活発な など
おせっかい→気が利く など

には大きな経験になると思いました。

ひばり教室…「粗大運動」を取り入れ、体の調整を学ぶ



一本橋ドンジャンケン

黄色だから、後ろだ！

棒をもち、心を合わせ！



横断歩道ゲームの動き（ジャンプ）

赤……止まる 青…一歩前
黄色…一歩後ろ 緑…左に一歩
オレンジ…右に一歩

考えた動きになかなか調整できず、思い通りに体を動かさない子供がいます。体全体を使った運動を「粗大運動」と言います。目からの情報を体に伝える学習が主な学習です。

まずは、楽しみながら運動をします。「一本橋ドンジャンケン」もその一つの活動でした。勝ち負けに関わらず、楽しむことも学びの一つです。

。「子供対教員」で行いました。

メインの活動は、「横断歩道ゲーム」です。色によって動きが変わります。

視覚情報を動きに変える、体の調整を学びます。そして、3人で1本の棒を持って動くことで、チームでの協力について学びます。力を合わせるよさを感じた学びです。